

第1回 沖縄特区 子ども・若者「縁づくり推進研修会

うるま市のやなえもんさんに学ぶ 子どもたちへの「いのちの授業」で見えてきたこと



「やなえもん」さん

8月24日(木)午後7時から沖縄別院本堂で第1回沖縄特区子ども・若者「縁づくり推進研修会」を開催しました。

テーマは「いのちの授業(やなえもんが見た現実)」。ご講師に「やなえもん」さんをお迎えしました。

やなえもんさんは写真のようにインパクトのある見た目をされています。子どもたちに興味を持ってもらうためだということです。

やなえもんさんは沖縄県全域で活動されていて、以前に勤務していたうるま市役所での、徘徊犬や負傷猫の保護、狂犬病予防接種



あいさつする中岡輪番

の立ち合いの経験や思いから、子どもたちに「いのちの授業」を始められました。この授業で子どもたちと触れ合うことで見えてきた様々な社会問題、心の叫びの現状、その向き合い方、傷ついた一人一人と向き合いながら過ごしたことについて、お話しいただきました。

いのちの大事さについてあらためて学ばせていただきありがとうございました。やなえもんさんに質問する研修会参加者



ハイサイ!! 沖縄へようこそ

9月14日(木)、山口教区自照会の皆さんが沖縄別院に参拝されました。中岡順忍輪番から、沖縄での真宗の歴史や、沖縄開教の歩みなどについて聞かれました。

皆さんのまたのお越しをお待ちしています。



自照会の皆さん

おきなわ

《2023秋・第120号》 浄土真宗本願寺派 発行 沖縄県宗務事務所 発行人 中岡 順 忍 〒900-0005 沖縄県那覇市天久2-18-2 電話(098)860-7009 ファックス(098)860-7469 mail ameku2182@yahoo.co.jp

実践運動推進研修会 別院 秋季彼岸会・秋の永代経法要



実践運動研修会講師の八幡師

第1回実践運動推進研修会を開催し、翌23日(土)には秋季彼岸会・秋の永代経法要を修行しました。両日ともご講師には石川教区江南組本光寺衆徒の八幡真衣師をお招きしました。

ご講師は福井県・石川県を中心にテンプル食堂(子ども食堂)という食事支援活動や、他にも全国各地で様々な支援活動をされています。沖縄県内では読谷村の真常寺を会場に、昨年8月から毎月一回、テ

9月23日(土)の秋分の日を中日として、20日(水)〜26日(火)が秋季彼岸の期間でした。 沖縄別院では9月22日(金)に



秋季彼岸会・秋の永代経の様子

ンプル食堂を開催されています。子どもたちを中心に、保護者や高齢者など、近隣の方々も多く参加されており、地域一丸となった子どもたちの居場所づくりを目指し、取り組まれています。

第1回実践運動推進研修会では、「貧困問題」をテーマに、これまでの活動内容や課題を中心にお話しされました。ご講師は「お金がない、



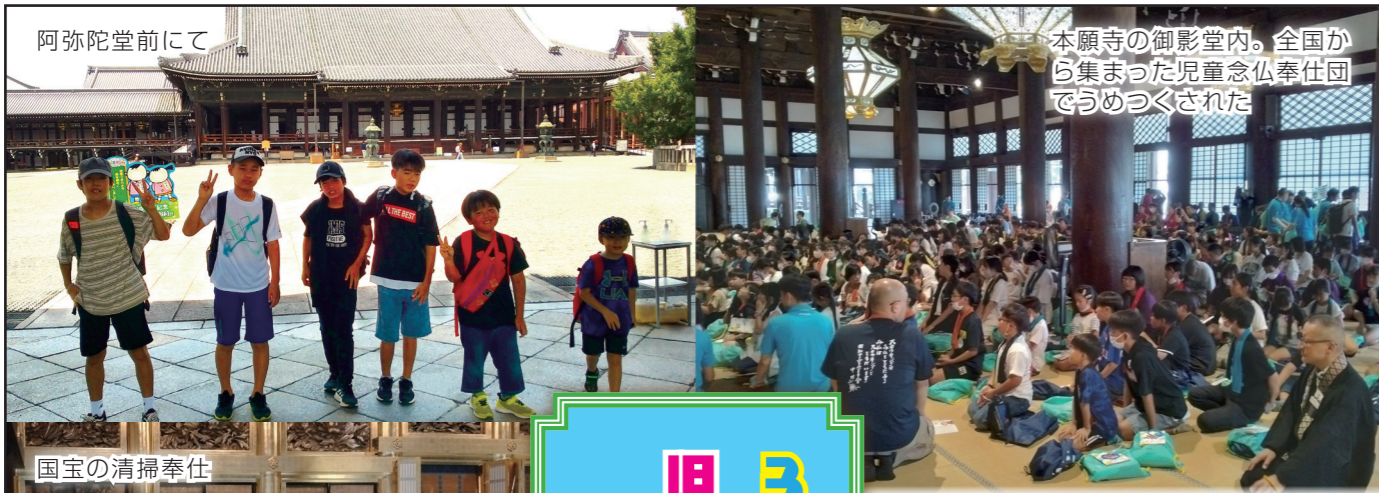
ご法話、そして 御文章を拝読される八幡師

食べるものがない、貧困と聞いたときにイメージする姿は人それぞれで違うと思います。

ます。貧困とは何なのか、どのような状態が貧困なのか、考えなければならぬ」とまとめられました。 翌日、秋季彼岸会・秋の永代経法要には多くの方が参拝され、皆さんはご講師の法話に耳を傾けられました。

八幡師は、「阿弥陀さまは、私を一人にはしない、私を救いたいとはたらきかけてくださいます。浄土真宗は私がこの身このままで救われる教えです」と話されました。

沖縄別院では毎年春秋の彼岸に合わせて「彼岸会・永代経法要」を修行しています。皆さん、ぜひご参拝ください。



阿弥陀堂前にて

本願寺の御影堂内。全国から集まった児童念仏奉仕団でうめつくされた



国宝の清掃奉仕



3年ぶりの 児童念仏奉仕団 ほとけの子の旅再開

7月23日(日)～25日(火)の期間、京都の本願寺で行われた「児童念仏奉仕団」に沖縄特区から6名が参加されました。「児童念仏奉仕団」は本願寺の清掃奉仕やレクリエーション等を通して親鸞聖人のみ教えに学び、本願寺に親しみ、次代をになう心豊かな仏の子どもの育成を目的とした行事で、沖縄からは過去にも3回参加し、好評をいただいていた。新型コロナウイルスによる中止が続き、今回は実に3年ぶりの開催でした。各寺院関係者から参加者を集い、中には初めて県外へ出るお子さんもおられました。

初日は朝早く那覇空港を離陸、神戸空港に着き、京都へ電車で移動。初めて電車に乗る子どもも多く、楽しんでいました。お昼に本願寺に到着すると、皆大きさに驚いていました。

レクリエーションも大人数でおこなわれた

本願寺の清掃奉仕を行った後、境内でクイズラリー、夕方には京都水族館を観光しました。

2日目は本願寺のお昼前に参拝、「児童念仏奉仕団」終了後、大阪の遊園地「ひらかたパーク」を満喫、ジェットコースター等を楽しみました。

3日目の最終日は神戸市内を観光し、たくさんのお土産を持って、お昼の便で沖縄に戻りました。天候にも恵まれ、充実した3日間でした。

今後「児童念仏奉仕団」に参加します。皆さんのご家庭からも京都の本願寺にご参拝ください。



盂蘭盆会 旧盆法要

今年のお盆は、8月11日(金)に沖縄別院・久米島布教所で盂蘭盆会、8月28日(月)～30日(水)に沖縄別院・天久礼拝所・久米島布教所で旧盆法要を修行しました。沖縄では多くの行事を旧暦で行う



沖縄別院の盂蘭盆会。多くのお参りをいただいた

ため、毎年、日にちが変わります。今年を上記の期間でした。

お盆は正式には盂蘭盆会といい、「盂蘭盆経」というお経が由来とされています。

あるとき、お釈迦さまの弟子の目連尊者は自分が幼いころに亡くなった優しい母親を神通力で探しました。すると母親は餓鬼の世界におちて苦しんでいました。餓鬼とは、この世で食った報いとして、飢えや渇きの苦しみの世界におちた者のことです。目連尊者は驚き、お釈迦さまに相談しました。お釈迦さまは、「あなたの母親はあなたや家族を思うあまり周りが見えなくなり、他人に対してはよくない行いをしていました。そのため餓

鬼になって苦しんでいるのです。母親を救いたいなら、山や森で修行をしていた僧侶が町へ下りてくる時、その人たちにおいしい食事を用意しなさい」と勧めました。目連尊者が修行を終えた僧侶たちに食事を施すと、母親は餓鬼の世界から救われたそうです。

このお経とともに日本に盂蘭盆会の行事が伝わり、様々な風習が混ぜ合わさって、今の私たちが行っているお盆のかたちになりました。

新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いていたせいも、ご参拝の方が増えた今年のお盆でした。



沖縄別院の旧盆法要。右の写真は納骨堂にて。ご家族の集まる姿が久々に見られた

